

しいきアルゲリッチハウスについて

議事（3）

■ 経緯

令和7年 2月26日 公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団（以下「財団」）の関係者が財団内の審議を経て、「しいきアルゲリッチハウス県有化に関する請願」を県議会へ提出（3月27日県議会本会議 全会一致で採択）

請願主旨

大分県における芸術文化の発信と人材育成の観点から、ハウスの県有化について以下のとおり求める。

- 1 財団からハウスの寄贈を受け、その運営方針に掲げる取組がより深化するように施設を管理すること。
- 2 マルタ・アルゲリッチ氏の名前を冠した品格が漂う施設となるよう、これまでの財団の実績を評価し、自由な発想と主体的な取組で運営させること。
- 3 教育や人材育成の場として、教育委員会等関係機関とも連携し、ハウスを積極的に活用すること。

令和7年11月26日 財団が「しいきアルゲリッチハウス」の寄附を県へ申請

12月 9日 県は財団に対して寄附の受領を通知 ※所有権移転:令和8年9月1日 予定

■ 活用の方向性

○30年以上にわたり来県し、クラシック音楽による地域活性化・芸術振興等に多大なる足跡を残している**マルタ・アルゲリッチ氏の名を冠する世界唯一の施設**

○県議会で採択を受けた請願も踏まえ、同施設を「**顕彰施設**」として**位置付け**、財団と連携し、**アルゲリッチ氏の功績の顕彰、音楽文化の発信、若手音楽家の育成、教育分野等との連携**を行うことで本県芸術文化の更なる振興を図る。

アルゲリッチ氏の功績の顕彰	貴重な音楽祭フィルムの上映、顕彰資料等の作成
音楽文化の発信	アルゲリッチ音楽祭室内楽シリーズの開催
若手音楽家の育成	一流音楽家によるマスタークラス等による指導
教育分野等との連携	こどもを対象とした音楽鑑賞・指導の実施



(C) 有限会社ジェイクス 佐藤二郎

■ 今後のスケジュール

令和8年 2月～3月 県議会第1回定例会 **設置管理条例案、関連予算案の提出**
4月～8月 利用規則の制定 等
9月～ 県による管理開始(予定)

(参考) アルゲリッチ音楽祭の開催: 3月～6月頃